

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公表番号】特表2009-510091(P2009-510091A)

【公表日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-533609(P2008-533609)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/50 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/50

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インター- α -トリプシン阻害剤の重鎖と共有結合することによって架橋された高分子ヒアルロン酸(HA)と、100kDaより重い高分子、つまり腫瘍壊死因子活性化遺伝子6(TSG-6)を含む精製組成物であって、オプションとして

a) Smad7を含み；

b) HAに対するタンパク質の割合は、約100：1未満、あるいは

c) 薬学的に許容される非固体製剤用、又は徐放性固体製剤用の担体を含む、ことを特徴とする精製組成物。

【請求項2】

少なくとも1つの組成物はホモジナイズされた羊膜材料から精製され、生のヒト胎盤から得られるものではないことを特徴とする請求項1記載の精製組成物。

【請求項3】

ホモジナイズされた羊膜材料の少なくとも1つの組成物は、羊膜から抽出された、ヒト羊膜、ヒト羊膜ゼリー、ヒト羊膜間質、またはこれらの組み合わせから選択されるヒト羊膜材料から調製されることを特徴とする請求項1記載の精製組成物。

【請求項4】

前記精製組成物の材料は羊膜から得られるものではないことを特徴とする請求項1記載

の精製組成物。

【請求項 5】

請求項 1 記載の前記精製組成物の有効量を提供するステップを有することを特徴とする被験者における瘢痕形成の抑制する方法。

【請求項 6】

請求項 1 記載の前記精製組成物の有効量を提供するステップを有することを特徴とする被験者における瘢痕形成を逆行させる方法。

【請求項 7】

請求項 1 記載の前記精製組成物の有効量を提供するステップを有することを特徴とする被験者における血管新生を抑制する方法。

【請求項 8】

請求項 1 記載の前記精製組成物の有効量を提供するステップを有することを特徴とする被験者における炎症を抑制又は予防する方法。

【請求項 9】

組成物の少なくとも 1 部はホモジナイズされた羊膜材料から精製され、生のヒト胎盤から得られるものではないことを特徴とする請求項 5 乃至 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】

ホモジナイズされた羊膜材料の少なくとも 1 つの組成物は、羊膜から抽出された、ヒト羊膜、ヒト羊膜ゼリー、ヒト羊膜間質、又はこれらの組み合わせから選択されるヒト羊膜材料から調製されることを特徴とする請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】

前記精製組成物の材料は羊膜から得られるものではないことを特徴とする請求項 5 乃至 8 記載のいずれかに記載の精製組成物。

【請求項 12】

血管新生の抑制を必要としている該被験者は、癌、または加齢黄斑変性症患者であることを特徴とする請求項 7 記載の方法。

【請求項 13】

該血管新生抑制組成物は、
血管形成に関与する内皮細胞のアポトーシスを引き起こす；
血管形成に関与する内皮細胞の遊走を抑制する；
血管形成に関与する内皮細胞の管腔形成を抑制する、
という性質を有することを特徴とする請求項 7 記載の方法。

【請求項 14】

前記ヒトは関節炎を患っている、又は少なくとも片方の目に炎症を患っていることを特徴とする請求項 8 記載の方法。

【請求項 15】

該炎症抑制組成物は、
炎症部位におけるマクロファージのアポトーシスを引き起こす；
炎症部位におけるプロスタグランジン E 1 に対するプロスタグランジン D 2 の比を増加させる；
炎症部位における TGF- β 1 活性を抑制する；或いは
炎症部位におけるインターフェロン- γ シグナル伝達を阻害する、
という性質のうち少なくとも二つの性質を有することを特徴とする請求項 8 記載の方法。